

特集

人的資本経営とエンゲージメント

座談会

人的資本経営とエンゲージメント

と き 2022年9月14日（水）
と ころ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》（敬称略、五十音順）

大 堀 龍 介 CMA

（機関投資家協働対話フォーラム 理事）

三 瓶 裕 喜

（アストナリング・アドバイザー 代表）

瀬 戸 まゆ子

（リコー コーポレート上席執行役員 CHRO）

《司会者》

古 布 薫 CMA

（インベスコ・アセット・マネジメント
運用本部日本株式運用部ヘッド・オブ・ESG）

目 次

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. はじめに | 5. バリュエーションへの落とし込み |
| 2. 人的資本の重要性 | 6. 開示、投資家と企業の対話 |
| 3. CHROの役割 | 7. おわりに |
| 4. 様々な雇用制度・雇用慣行について | |

1. はじめに

古布 『証券アナリストジャーナル』では、3号にわたる連続企画として人的資本に注目する。人的資本というキーワードは様々な場面で目にするが増えている。企業側においては対外的な情報開示のみならず社内向けのコミュニケーション

でも試行錯誤が続いているのではないか。投資家側においても、人的資本の情報をどのように業績予想や投資判断に反映させるのか悩むケースが多いと思われる。本日は、投資家と企業の対話という観点から人的資本について議論を行いたい。事業会社側からリコーのCHRO（Chief Human Resource Officer、最高人事責任者）である瀬戸